



議会へ届け町民の声！
有田町議会だより

目次

- ◆令和6年度一般会計補正予算（第6号）
1億9606万円を追加補正し
141億1836万円に P2～
- ★令和6年度補正予算のピックアップ
観光振興事業
JR有田駅の陶板補修負担金
- ◆町の課題や方針を徹底討論！
一般質問12人 P7～

令和6年
12月議会
No.71

（大木宿の鬼火焚き準備風景）
令和7年1月31日発行



議案番号	提出議案	審議の結果
議案第77号	有田町デジタル推進センターの設置及び管理に関する条例について 町民の雇用の増大や地域振興に寄与するため、旧デイサービスセンター「くつろぎ」を改修し、新規事業又は事業拡大に取り組む事務系企業が業務を実施できるよう、オフィス機能を有する施設を設置するには、条例の制定が必要である。	賛成全員
議案第81号	公共施設の使用料を規定する関係条例の整備に関する条例について 公共施設を長期的に維持管理し、負担の公平性と公正性を確保する観点から、各施設の使用料を改正するためには、関係条例を整備する必要がある。 <反対討論> ・国民の賃金上昇より物価高騰額が多い状況、すなわち実質賃金がマイナスの中での1割増額は時期尚早ではないか。一番危惧するのは婦人の家のピアノ使用料であり、1時間あたり2100円から2310円へ改定される。今年度の使用は3回、5時間だけであり、使用料が高すぎる原因ではないか。町民がもっと気軽に使用できるよう、また施設の有効利用のため、ピアノ使用料は値下げ改定をすべきである。(梶原議員) <賛成討論> ・ピアノは高額であり、年間のメンテナンス費用がかかっている。(藤議員)	賛成多数 賛成14人 反対1人
議案第88号	指定管理者の指定について 小路庵の管理と運営を効果的かつ効率的に行う。(株)つぎと九州(所在=福岡市)。 指定予定期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日。	賛成全員
議案第90号	令和6年度有田町一般会計補正予算(第6号)について 歳入歳出を1億9606万円増額し、予算総額を141億1836万円とする。 竜門施設改修事業、有田町デジタル推進拠点事業を新たに追加。障害福祉サービス事業、企業誘致対策事業、大有田焼会館管理事業などを増額、農業水路等長寿命化・防災減災事業〔廃止ため池〕、農業水路等長寿命化・防災減災事業〔監視カメラ〕などを減額。財源については、ふるさと応援基金繰入金、財政調整基金繰入金などで措置。前年同期に比べ0.3%の増となっている。	賛成全員
議案第92号	令和6年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ275万円増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億9204万円とする。	賛成全員
議案第93号	令和6年度有田町介護保険特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3116万円増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ23億618万円とする。	賛成全員

令和6年度補正予算ピックアップ

◎観光振興事業 JR有田駅陶板補修負担金

JR有田駅には、陶都にふさわしく、有田焼の伝統的意匠を代表する3社の窯元による陶板作品がホームに設置され、列車を利用される町民や観光客に親しみ敬愛されている。

この1つである、源右衛門窯の陶板作品が設置されている箇所、地盤の劣化などにより、木製の躯体枠が大きく傾倒するなど、景観的な不具合と安全面に不備があるため、修復されることになった。



▲ JR有田駅陶板

★有田町次世代芸術文化振興「ミューラルアート」事業 550万円

SAGA2024国民スポーツ大会軟式野球大会予選会場にもなった有田赤坂球場の壁面に、次世代アートとしてトレンドになりつつある「ミューラルアート」（壁画アート）が完成した。国内外で活躍している Yusei (ユウセイ) 氏、hitch (ヒッチ) 氏、WOK22 (ウオック ニジユウ二) 氏の3人のアーティストが制作した。

この作品をきっかけに、次世代の芸術文化を切り口とした新たな観光資源や関係人口の創出を図っていく。



▲有田赤坂球場壁面にある「ミューラルアート」

★歴史と文化の森公園管理事業 / コンベンションホール床張替工事 775万円

焱の博記念堂のコンベンションホールは、町内外のイベントや展示会など多くの利用がある。

床は、全面カーペットが張られており、現在のパンチカーペットは2016年（平成28年）年の有田焼創業400年祭時に張り替えられたものだが、これまでの使用頻度や経年劣化とともに床面のシミや汚れがひどく、毛羽立ちが目立っている。

当初はポリ塩化ビニール素材等を検討していたが、床面の規模が1,043㎡と広いと滑りやすいという懸念や、今後の維持管理やメンテナンスがしやすいタイルカーペット（布素材）に張り替えを行う。令和7年3月までに完了する予定である。



▲張替前の焱の博記念堂コンベンションホール床

12月定例議会委員会審議

産業建設 常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)
委員長 手塚 英樹
副委員長 諸隈 洋介

▼令和6年度有田町一般会計補正予算(第6号)

樋渡委員 有害鳥獣対策について、カラスは撃ち落としていいのか。
農林課長 発砲して脅している。



▲竜門山の家

岩尾委員 JR有田駅陶板補修の内容説明を。
農林課長 竜門山の家の解体設計委託、アスベスト調査委託新築設計委託の3つである。
諸隈委員 竜門施設改修後は、農林課、商工観光課どちらが管理していくのか。

岩尾委員 改札口の真正面に源右衛門窯の陶板があり、以前から基礎の部分が下がって傾いている。その補修である。
岩尾委員 竜門施設改修事業の内容説明を。
農林課長 竜門山の家の



▲泉山町営住宅

諸隈委員 町営住宅等長寿命化事業の今後の計画は。
建設課長 今年度は東園町営住宅の工事を行っている。来年度は泉山町営住宅の4

農林課長 林業構造改善事業で整備している中で、竜門山の家の解体・新築までは農林課で行う。その後の運用についてはトップの判断となる。
岩尾委員 緊急浚渫推進事業の内容説明を。
建設課長 地元から要望があつた3つの河川で、北ノ川内地区を流れる新定川、下内野地区を

流れる内野川、戸杓地区を流れる向ノ原川の工事である。
諸隈委員 定住促進住宅管理事業について、今後の改修計画は。
建設課長 改修は6カ年計画で現在、2号棟の10部屋分の改修を行っている。引き続き来年度以降も改修していく予定である。また来年度は2号棟の外壁と屋根の改修を予定している。



▲有田町リサイクルプラザ 剪定枝・草類処理施設

▼委員会関連事項
委員会終了後、有田町リサイクルプラザ基幹的改良等工事の進捗状況確認を行った。
手塚委員 誘致の具体的な話はないか。まちづくり課長 特にな

棟のうち2棟の外壁と屋根の改修工事を予定している。

▼令和6年度有田町工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)

文教厚生 常任委員会

(委員会構成議員) 5人

委員長 藤 誠一郎
副委員長 松永 俊和

▼公共施設の使用料を規定する関係条例の整備に関する条例

浦川委員 公共施設使用料の算定割合について、有田町は約20%を想定されているが、他市町の状況は。

生涯学習課長 佐世保市は約25%、宮崎市は約25〜50%である。有田町も減免利用分を正規の料金で徴収すれば25%になる。
梶原委員 有田町婦人の家のピアノ使用料は1時間につき2310円と、極端に高すぎないか。
生涯学習課長 ピアノは高額であり、年間のメンテナンス費用がかかっている。

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。



▲有田町婦人の家のピアノ

(採決の結果) 賛成多数

▼有田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

浦川委員 今回の改正により、町内の保育事業所の職員体制に影響はあるのか。

子育て支援課長 町内に家庭的保育事業所は無いが、保育園と認定こども園については、現在、4〜5才児が25人以上のクラスはなく、3才児が15人以上の園

が3園あるものの、今年度までは経過措置があるため運営体制に支障はないと考えている。

▼有田町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

藤委員 子どもの医療費助成へのふるさと応援基金の繰り入れ状況は。

子育て支援課長 令和5年10月から助成対象者を高校生まで拡大した。令和5年度上半期と令和6年度上半期の助成額を比較すると、710万円ほど増加している。年額にして1400万〜1500万円ほどの増加見込みであり、ふるさと応援基金からの繰り入れは1000万円程増加する見込みである。

▼令和6年度有田町一般会計補正予算(第6号)

福島委員 福祉サービスを提供する人材は確保できているのか。

健康福祉課長 以前アンケートを実施したが、人材確保には苦慮されている。

梶原委員 10月からの65

才以上コロナワクチン接種状況は。また、新型のレプリコンワクチンの接種状況は。

健康福祉課保健監 10月の接種者数は682人である。町内医療機関でレプリコンワクチンは全く使っていない。

梶原委員 歴史と文化の森公園の噴水ろ過装置給水電動弁増設工事の内容説明を。



▲歴史と文化の森公園の噴水

生涯学習課長 噴水の水は循環型であり、蒸発等で不足した水は上水で賄う。その際、水が逆流しないように電動弁を増設する。

松永委員 噴水は1日に3回稼働している。町民へもつと周知しては。生涯学習課長 暖かくなったら、広報等で周知する。

▼令和6年度有田町介護保険特別会計補正予算(第2号)

福島委員 介護職員の人材確保はどうしているのか。

健康福祉課長 人材確保は苦慮されている。町の施策として、令和3年度から新たに町内介護施設へ就職された方に対し、常勤10万円、非常勤5万円の支援金を交付している。令和5年度は22人へ交付した。

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

(委員会構成議員 6人)

委員長 中島 達郎
副委員長 蒲原多三男

▼有田町デジタル推進センターの設置及び管理に関する条例

池田委員 オフィスとして貸すための条例か。

まちづくり課長 町へ進出するIT企業に最初のオフィスとして貸し出し、また、コワーキングスペースとして無料で一般にも開放するための条例整備である。

▼令和6年度有田町一般会計補正予算(第6号)

○歳入 寄附金・町債

原田委員 教育費寄附金の内容説明を。

財政課長 県PTA連合会から各市町に給付される寄附金であり、教育振興や児童生徒の健全育成への備品購入等に使う予定である。

中島委員 一般廃棄物処理事業債の充当率と交付税措置率は。

財政課長 国の補助事業は充当率90%、交付税措置率50%であり、町の単独事業では充当率75%、交付税措置率30%である。

○歳出 総務費

原田委員 工業団地取付道路建物・構造物等補償費について、調整はどうなっているのか。

まちづくり課長 南原工業団地の取付道路に係る補償費である。交渉しているが様々な意見があり、うまくいっていないのが事実である。

原田委員 南原原宿線の延長になるのか。

まちづくり課長 南原原宿線の延長で交差点等の協議を行っている。

今泉委員 札ノ辻周辺整備計画策定業務委託料の内容説明を。

まちづくり課長 佐賀銀行跡地について、グラントデザインの構想部会委員と協議する中で、単純に建物を建てるだけではなく、周辺を含めた整備計画を作る必要性が出てきた。ワークショップ等で地元の方々との協議しながら取り掛かっていくため、今回予算を計上した。

久保田委員 佐賀銀行跡地、有田観光協会、無電柱化も整備計画の範囲内か。

まちづくり課長 今後の内山地区のハブ的な機能を持つことが考えられるため、それらも含めた計画となる。

久保田委員

地元の意見を聞きながら、スケジュール目標はあるのか。

まちづくり課長 内部的には、ある程度のスケジュール目標を定めている。

○歳出 消防費

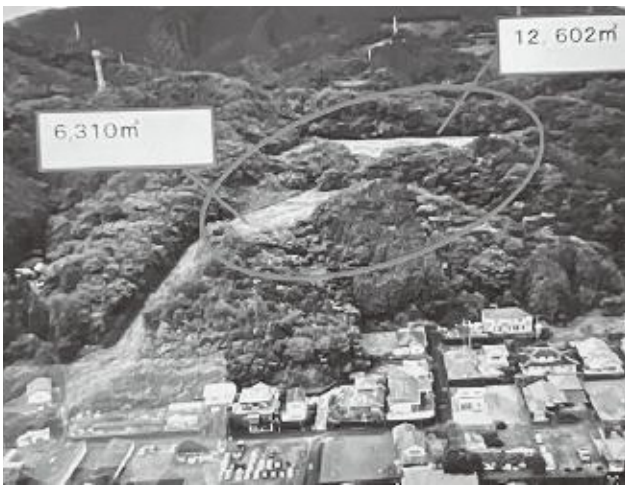
今泉委員 消火栓について、設置の目標値は。

総務課長 目標値はない。

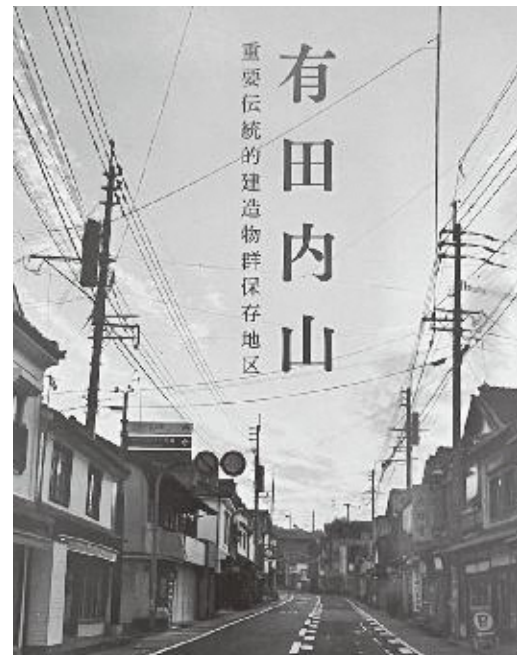
今泉委員 防火水槽の設置についてはどうか。

総務課長 防火水槽は、地区からの要望等も踏まえ設置するかどうかが判断しているため、目標値はない。

今泉委員 消火栓の設置を推奨することを要望する。



▲南原工業団地予定地



▲有田内山地区 出典 文化財課

带状疱疹ワクチン接種の助成を



なかしま たつろう
中島 達郎 議員

答 国の定期接種化に合わせて対応する

高齢化社会に対応した
予防医療の充実

▽带状疱疹ワクチンの
接種費用の助成

議員 県内市町の助成
の現状は。

健康福祉課長 11月末
時点で、8市町が助成
を実施しており、さら
に3市町が今後助成を
検討している。

議員 ワクチンの種類
と接種費用と効果は。

健康福祉課長 生ワク
チンと組み換えワクチ
ンの2種類があり、生
ワクチンは接種回数1
回で約8千円。その効
果は、接種後5年から
10年程度の有効性があ
るとの報告がある。組
み換えワクチンは、接
種回数2回で、1回に
2〜3万円を要し、接
種後10年以上の有効性
が持続するとの報告が
ある。

議員 町の助成方針は。
健康福祉課長 今年6

月の厚生省ワクチン分
科会予防接種基本方針
部会の審議で、定期接
種化に向けて引き続き
検討されており、町と
しても国の定期接種化
の取り組みに合わせて
対応したいと考えてい
る。

▽脳ドック

議員 伊万里有田共立
病院で実施している脳
ドックの受診者数と受
診年齢の上限は。

健康福祉課長 令和5
年度受診者数は185
人で、上限は国保被保
険者は74才であり、国
保以外の方は69才であ
る。

議員 受診年齢の上限
延長を。

健康福祉課長 国保被
保険者は、令和2年度
に74才に引き上げたが、
国保以外の受診者の年
齢の延長も、健康寿命
を延ばすという観点か
ら意義があり、今後

伊万里有田共立病院と
相談し検討する。

▽個別胃内視鏡検査

議員 受診年齢の上限
延長を。

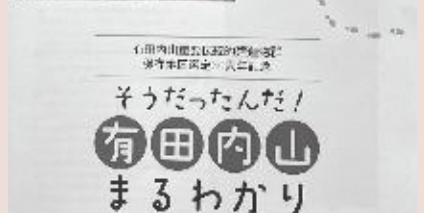
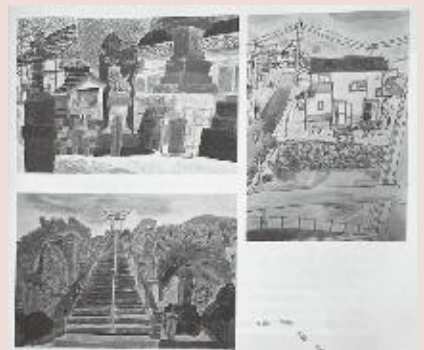
健康福祉課長 68才以
下の偶数年齢の方が対
象であるが、県の広域
事業であり、当町だけ
の上限延長は難しい。

地方債



▲錦秋の内山地区

議員 地方債とは、地
方公共団体が財政上必
要とする資金を外部か
ら調達し負担する債務
であるが、当町の地方



▲出典 有田歴史民俗資料館

債の残高は。

財政課長 令和5年度
末残高は、102億3
19万円で、前年度比
3億7540万円減少
している。

議員 この残高額は翌
年以降に国が行う交付
税措置額も含むのか。

財政課長 それも含め
た額である。

議員 内山地区の次年
度以降の過疎債の使途
計画は。

財政課長 令和7年度
から9年度にかけて内
山地区振興事業として、
無電柱化事業のほかに
旧佐賀銀行有田支店跡
地周辺の整備及び有田

内山地区文化交流施設
(仮称)の整備関連事
業も計画している。

議員 「有田内山まる
わかり」を読むと、江
戸時代の生活や文化の
豊かさ、世界の有田
と言われる所以だと想
像するが。

町長 内山は江戸文化
の中心地だったであろ
うと承知しており、町
並みも含めてしっかりと
文化や伝統を活かし
ていきたいと思う。

◇その他の質問

・実質公債費比率から
読み取れることは



池田 栄次 議員

やまだに保育園跡地 合併特例債で多目的施設に

答 将来的には除却・縮減の方向である

合併特例債の現況

▽合併特例債の趣旨

議員 合併特例債は地方債の一種だが、返済は借入額の3割程度で済むと認識しているが、

財政課長 合併特例債は、合併した市町村の公共施設の整備等に活用できる地方債で、普通交付税措置によって事業費の3割程度が町の負担となる有利な地方債である。町も幅広い事業に活用している。

▽活用期限は

議員 この特例債はいつまで活用できるのか。
財政課長 活用期限は令和7年度までとなっており、令和7年度の起債可能額は約4億8千万円である。

令和7年度に起債した事業で完工できない時は、令和8年度まで繰り越しが認められる。

▽やまだに保育園の運動広場跡の嵩上げ

議員 廃園となったやまだに保育園の園舎跡と運動広場は2m近くも段差がある。嵩上げ(かさあげ)して広場を造れないか。

財政課長 基本的には嵩上げせずに活用できればと考えている。民家に隣接し、敷地の広



▲多くの園児を育んだやまだに保育園跡地

さなどから全体的な嵩上げは容易ではない。県道から車両の出入り整備は可能と考える。

▽合併特例債の活用で多目的施設の検討を

議員 跡地は除却(解体)も選択肢にあるようだ。だが、合併特例債で多目的施設の検討を求める。

財政課長 現在は倉庫、浮立保存会の練習場、広場は地域でグラウンドゴルフの練習などに活用されている。当面は園舎跡を現況で活用し、将来的には除却・縮減の方向だ。その後

は地域のご意見も聞いて検討したい。

寄贈不動産の現状

▽寄贈された土地家屋

議員 町に寄贈されて、管理している土地や家屋の数は。

財政課長 主な家屋は、伝統的建造物の小路庵、国重要文化財・伝統的建造物の旧田代家西洋館、芸術院会員であった青木龍山邸である。

▽寄贈不動産の管理費

議員 過去5カ年間の維持管理費は。
財政課長 3施設の過去5カ年の支出総額は

約2400万円である。今後の見込みは、令和6年度予算で小路庵に約1054万円。令和7年度からは指定管理委託料等として約1000万円。

旧田代家西洋館の令和6年度・7年度予算は各150万円程。西洋館は令和10年度に老朽化調査、同11年度に経年劣化補修を予定。青木邸の令和6年度予算は約165万円、令和7年度以降は移住・定住につながるように改修を検討している。

議員 年々、費用はかさむ。胸像や記念碑等で貢献に報いることはできないのか。

財政課長 町の歴史・文化・観光に寄与する施設。今後も町が維持管理して活用したい。なお、今後新たな寄贈等は基本的に受け入れる考えはない。

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

剪定枝・草類処理事業運転の目的は



いわお ただし
岩尾 匡 議員

答 地球温暖化対策に繋がっていきたい

リサイクルプラザでのCO2削減事業

議員 処理事業の運転管理に向けて多方面との協議も継続され、経過報告を経て、令和7年には運転開始となるが、この事業の最終目的を再確認したい。

住民環境課長 1850年から1900年を基準として世界気温は既に1℃温暖化が進んでおり、日本を含め世界各地で様々な影響が出ている。今年に入り、能登半



▲剪定枝・草類粉碎機

島をはじめ、全国各地で豪雨災害や高温による農産物の生育障害や品質低下に加え、暑さによる熱中症、家畜の

変死や生乳の品質低下、海水温の上昇による漁業や養殖業への被害発生が起こり、全世界で地球温暖化対策に向けた取り組みがなされている。

町においても、主な産業の1つである窯業の焼成過程でCO2の排出は避けられないため、少しでもCO2の削減に資するために、



▲処理後のオガクズ

草類や剪定枝くずの焼却から、オガクズ化へのリサイクルで、地球温暖化対策に繋がっていくことを目的として事業を行うものである。

ICT教育の成果と課題

議員 教育のICT化による効率化と、児童に向き合う時間の創出について、教育長の所見は。

教育長 研修のオンライン化やアプリ使用での通信、パソコンでのドリル学習、教材のスキニングなどの業務効率化で有効な時間は大幅に創出ができています。しかし、学力向上などが教育本来の使命であり、それ以外の業務が混在する状況である。教師の専門性に見合う業務の精選と、関連職員の拡充が課題である。

町では、6校中26人の特別支援員、3人のICT支援員、各中学校に不登校支援員の配置など、他市町より充足しており、今後も町の協力を得ながら進めていきたい。

議員 先進国の一部で脱DX教育が検討され、ペンと紙による教育に戻す試みが見られるが、懸念されている活字離れや集中力低下などの影響について、教育長の所見は。

教育長 電子黒板などは指導アイテムとして必需品化しているが、各自使用の端末は必要に応じた教具として利用している。活字離れについては、紙、デジタルに関わらず常時使用され、読み書きの力は損なわれていない。図書離れについても、町では令和以降、小・中学生共に図書貸し出し数の著しい飛躍がみ



▲紙とペンでの学習

られる。集中力や体への影響については、低下よりも過剰集中による視力低下や体調の変化が懸念され、適正な使用について国の指導が始まっており、学校としても対策を練りながら進めていきたい。

◇その他の質問
・個別最適化の学び
・教師主導型と児童主体の伴走型教育の比較について
・小規模特認校の可能性と保護者や地域との連携・要件について

町施設の安心・安全対策について



久保田 豊 議員

答 住民の方々の思いに寄り添いながら検討したい

かんのん山児童遊園

議員 手すりや柵の老朽化対策は。

建設課長 かんのん山児童遊園は町の施設であり、老朽化により腐食が著しい箇所が多い。安全な施設になるよう一部の地域を立ち入り禁止にすることも、転落防止柵の改修などを検討する必要がある。

議員 かんのん山児童遊園の歴史に対する所感は。



▲かんのん山児童遊園の手すりや柵

文化財課長 昔から韓国には旧暦の8月15日に収穫を感謝する風習がある。かんのん山の丘の上には小さな祠があり、渡来陶工として有田焼に関わった祖先の霊が祀つてあることから、次第にこの場所

は韓国から来た陶工たちが故郷を偲び酒を酌み交わし踊った宴の場所となつていった。

教育長 私も二度ほど有田の小学生たちと韓国へ行き、李参平顕彰碑を見てきた。その際、山並みと風景が有田とよく似ていたのを覚えている。そういった意味で、先人はかんのん山からの風景を見て故郷を思い出されたのではないかと思う。ぜひ地域の方々や子どもたちが親しめるような場所にしていただければと思う。

しらかわ保育園

議員 しらかわ保育園の今後の活用は。

子育て支援課長 しらかわ保育園は昭和45年に開園し、少子化のありを受けて令和4年12月をもって廃園、今は備品の一時保管倉庫として活用している。築54年が経過し老朽化が著しいため、安全面を考慮し解体も視野に入れた検討が必要と考えている。

空き物件インフォメーション

議員 町の空き物件インフォメーションの登録件数は。

まちづくり課長 現時点では15件である。

議員 富山県上市町の「0円空家バンク」を考えると、ないか。

まちづくり課長 基本的には民間業者と連携協定を結んで取り組んでいる。掲載件数は9年

で184件、そのうち成約155件となっている。0円空家バンクの制度を取り入れるのは現状では難しいが、十分研究して取り組めるものは取り組んでいきたい。

安心・安全対策

議員 町有施設の再度の点検と所有件数は。

総務課長 現在管理しているのは126施設

議員 利用頻度が高い施設は。

総務課長 社会体育施設、図書館、生涯学習関連施設、

保健福祉、子育て関連施設の利用頻度が多い。

町長 今まで、公共施設は各担当課ごとに把握していたが、今後は全体的なバランスを考える担当を作り、それぞれの課題を束ねて管理していきたい。

議員 危機管理は想定外のことを考えることだと思つた。

総務課長 耐震機能がない施設の改修の必要性は、住民の利用上の安心・安全の確保のためにも最も重要だと十分認識している。



▲生涯学習センター北館

情報発信の公式 LINE の活用はできないか



浦川 和彦 議員

答 LINE にこだわらず、検討したい

情報発信の公式 LINE 活用

議員 三重県鳥羽市では、子育て支援事業で、18才以下の子どもを持つ世帯を対象に、公式LINEを活用した市内協賛事業所の特典などがある。

県内各市町でも、公式LINEで防災や行政、観光・物産、子育て、移住に関するさまざまな情報をホームページと連携して発信されている。

また、LINEは幅広い年齢層にわたり、日常的なコミュニケーションツールとしての利用が多い。

有田町としても、公式LINEを活用した行政サービスの導入はできないのか。

まちづくり課長 LINEは普及率が高く、広く使われているが、その反面、情報流出が

とぼっ子カードの使いかた

協賛事業所で提示していただくことで特典が受けられます!

お店での特典利用時の手順



注意!

事前に特典利用の申し出が必要な場合がありますのでご確認ください

▲鳥羽市「鳥羽っ子カード」

発生しており、政府から改善を求める勧告も発生している。

様々なツールを活用した情報発信は必要と考えるが、現時点では公式LINEは考えていない。

議員 江北町では、スマートフォンやタブレットで『町の役立つ情

報』などの情報伝達手段として、公式アプリ「江北町くらしの情報ナビ(へそなび)」を導入している。

また緊急時には、屋外の防災行政無線や屋内の戸別受信機の情報が届きづらいところでも、個人のスマートフォンやタブレットに、

確実に配信されるシステムとなっている。

江北町の公式アプリや各市町が活用しているLINEについても、メリットとデメリットを調査し、活用の検討はできないか。

町長 江北町の公式アプリについては、江北町長と意見交換しながら参考にしたい。

まちづくり課長 LINEを町民全員へ対象とするのは難しいが、個別の対応は可能であると思う。

お知らせするメディアは多数あり、LINEにこだわらず検討したい。

定して、家族や職場ぐるみで取り組まれている。

町内では、健康づくり介護予防事業として40才以上としているが、同じように緩やかなポイント制度と、全年齢を対象とした健康づくり事業はできないか。

健康福祉課長 ウォーキングのポイントを増やすことや、各種講座などへの参加に対してもポイントを付与する見直しを進めている。

また、県の健康ポイント事業「SAGATOCO(※)」との連携を相談しており、「SAGATOCO」が進展した後の利用拡大状況を見極め、対象年齢などを検討したい。

議員 愛知県東郷町の健康マイレージ事業は、参加対象者をすべての年齢とし、ポイント基準を自由に緩やかに設定する健康アプリ

地域資源を生かした観光施策を



まつなが としかず
松永 俊和 議員

答 「黒髪山・ダム周辺」の観光戦略を練りたい

竜門山の家とキャンプ場の整備について

議員 竜門山の家と竜門キャンプ場の利用状況は。

農林課長 この施設は昭和52年に整備された。竜門山の家は、団体客の着替えなどに利用され、宿泊はない。

キャンプ場（バンガロー）の利用者は、令和元年度1242人、令和5年度1221人と、コロナ禍前後を比較しても、あまり変わらない。

その内、日帰りの客が令和元年度198人、令和5年度が461人となっており、川遊びやイベントなどの利用が多くなっている。

議員 北山キャンプ場は、昨年10月にリニューアルされ、シャワーやトイレ設備を新設し、ペット可やたき火可のエリアを設け、初心者

から上級者まで想定し複数の区画を設定している。

有料化でもプライスレスなアウトドア空間として好評を得ており、年間利用者が2倍となった。

一方、竜門キャンプ

場（バンガロー）は昭和52年に整備され、冷暖房や内張仕上げなどもない。

キャンプ場は冬の利用は少ないが、黒髪山は九州低山百名山に選ばれ、最近では夏冬問わず多くの登山客が訪



▲バンガロー「竜門」、「牧山」の現状

れている。

そのため、快適に過ごせるよう冷暖房設備を新たに設け、利用者のニーズに合わせた施設整備が必要であり、有田の自然環境を愛するファンを増やす観光施策としての効果が期待されている。更に、宿泊施設の改修や改築も進めて頂きたい。

農林課長 キャンプ場（バンガロー）は、5棟整備され、当初は子どもクラブなどの団体利用が多く、利用状況にあつた簡易的な造りになっていた。現在、湿気や経年劣化で傷みも進み、度々修理をしている。

利用頻度の低い棟は解体し、頻度の高い棟は湿気対策を施し、利用者のニーズに合わせた。

議員 登山客や多くの人たちが訪れる竜門ダム周辺である。

ダム周辺の奇岩・清水が湧く水場・旧陶石採掘場などの由来や、物語を案内する観光揭示板を設置できないだろうか。

また、キャンプ場近くの土地を購入できた。これを機に利用者の要望があるキャンプ場へ向かう道路や橋など、段差をなくす整備ができないだろうか。

町長 土地は9月に購入できたが、役場内で活用方法を検討している。

黒髪山やダム周辺などは有田観光の一つの目玉である。

看板や土地の活用法については、民間や地元などと協議し、観光戦略を練りたい。

◇その他の質問
・白川キャンプ場の現状と今後は
・古民家再生事業（仮称）の進捗は

佐賀銀行有田支店跡地基本設計に地域の声を



てつか ひでき
手塚 英樹 議員

答 今年度、来年度中に協議を進めていきたい

議員 佐賀銀行有田支店跡地の基本設計の進捗状況

▽内山地区の再開発

議員 内山地区では、この2年で空家の売買、賃貸で店舗のオープンが10軒動き始めている。町長の施政方針の中にも内山地区の活性化実現と、賑わい創出のための事業を進めるとあるが進捗状況は。

まちづくり課長 サウディング調査を行い、整備内容を整理したところ、道路の拡幅、土地の高低差の問題、無電柱化に伴う調整もあり、基本設計が遅れている。また、ある程度広域な事業計画を作成する必要がある。

議員 広域になると商工会議所の跡地、白川稗古場などを想像するが基本設計の用途は。
まちづくり課長 令和7年度中にはと考えている。

議員 民有地も含めた計画になるので、地域の方も参加した話し合いをお願いしたい。

まちづくり課長 整備計画を進める中で地域の方の意見を聞くワークショップを計画している。

町長 設計ができてからではなく、今年度、来年度と地域の皆さんの意見も取り入れた建物にどのような機能を持たせるか、運営も含め協議していきたい。

脱炭素の取り組み



▲土岐市ホームページより

①窯の内部にファイバーを施工して燃料費20%削減、②若手グループで使用上問題がない2級品を正規価格で販売し、差額を森林育成に還元、③佐賀県窯業技術センターにおいて焼成温度1300度を1200度に下げると低温焼成で燃料費38%削減。このように少しず

▽窯業関係の取り組み

議員 土岐市では「脱炭素美濃焼SDGsプロジェクト」という陶磁器メーカーによる脱炭素の取り組みが始まっている。焼成条件の見直しで燃料消費量を低減し、その成果をステッカーやwebで発信している。2050年のCO2排出ゼロに向けた動き出している。町の取り組みは。

商工観光課長 窯業関係の取り組みとして、

つではあるが脱炭素にに取り組んでいる。

▽ESG分析の進捗状況

議員 3月に町のホームページに第一弾の分析結果報告が掲載されているが、その後の状況は。

総務課長 第一弾の報告では、有田焼の創出利益、経済波及効果で優位性が高い可能性があることが分かった。今後は農業・林業の数値化でカーボンオフセ

部門・分野	令和3年度 排出量 [千t-CO ₂]	構成比
合計	86	100%
産業部門	18	20%
製造業	14	16%
建設業・鉱業	0.99	1%
農林水産業	3	3%
業務その他部門	16	19%
家庭部門	17	20%
運輸部門	34	39%
自動車	32	38%
旅客	17	20%
貨物	15	18%
鉄道	1	1%
船舶	0	0%
廃棄物分野（一般廃棄物）	2	2%

▲有田町のCO₂排出量の現状把握

ット実現の有効性を確認する。

議員 糸島市ではワカ×養殖で吸収したCO₂を排出枠として企業に販売する「Jクレジット」に取り組んでいる。唐津市でも佐賀銀行と仲介業者が連携して2026年販売を目指している。地方にチャンスが来ていると思うが。

町長 ESG先進地として前に進めていきたい。

奨学金返還支援制度の創設を



かじはら きたのり
梶原 貞則 議員

答 検討していきたい

奨学金返還支援制度

議員 町が運営する独自の奨学金制度があるが、その仕組み及び制定された経緯の説明を。

学校教育課長 町では「社会に貢献できる人材を育成する」という目的で4つの奨学金制度があり、運用されている。(制度は表1参照)

貸付金額	貸付金の種類	高校	高専	短大 専修学校	大学	採用人員
		有田町ふるさと奨学金	月額2万円		月額5万円	
	竹内昌三育英資金	—	—	—	月額5万円	若干名
	江副奨学金 (理工系に限る)	月額2万円	—	—	月額5万円	1名
	有田ロータリークラブ 福島奨学金	—	—	—	月額5万円	1名
貸付方法	毎年度2回(5月・9月)に指定口座に振り込み					
貸付期間	貸付開始の月から正規の卒業の月まで					
償還期間 (措置期間を含む)	高校・……………貸与期日より5年以内 短大・専修学校・…貸与期日より7年以内 大学・……………貸与期日より10年以内					
据置期間	1年以内					

▲表1 有田町の奨学金貸付制度

「有田ロータリークラブ福島奨学金」本町出身の福島喜三次(きそうじ)氏が日本におけるロータリークラブ創設に尽力された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

議員 多くの先人、篤志家の方々の「社会に貢献できる優秀な人材を育成する」という崇高な理念により創設された基金であり、かつ無利子である。もっと活用できるように制度の見直しが必要ではないか。

議員 近年の運用実績は、学校教育課長 令和5年度は、竹内昌三育英資金47・3%、江副奨学金69・3%、有田ロータリー福島奨学金40・8%、有田ふるさと奨学金28・6%。全体で40・3%である。

議員 波佐見町では奨学金制度と共に、「奨学金返還支援制度」を設けている。これは波佐見町に住所を有し、かつ居住している30才未満の方で、陶磁器関係、認定こども園及び保育園、介護事業所に就労している方に返済額の2分の1を支援するというもの。また、伊万里市では、医療・介護・保育分野の専門職員の人材確保のため、市内に居住し、市内の事業所に就職さ

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

議員 波佐見町では奨学金制度と共に、「奨学金返還支援制度」を設けている。これは波佐見町に住所を有し、かつ居住している30才未満の方で、陶磁器関係、認定こども園及び保育園、介護事業所に就労している方に返済額の2分の1を支援するというもの。また、伊万里市では、医療・介護・保育分野の専門職員の人材確保のため、市内に居住し、市内の事業所に就職さ

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

奨学金名	竹内昌三育英資金	有田ふるさと奨学金	江副奨学金	有田ロータリークラブ 福島奨学金	計
今年度貸付	高校・専門学校 専修学校 短期大学 大学 計	2人 1人 4人 7人 7人	3人 3人 3人 7人 7人	2人 2人 2人 2人 2人	2人 1人 16人 19人 10,080,000円
今年度償還者数	24人	23人	5人	5人	57人
今年度返済額	5,902,000円	3,908,000円	736円	728円	11,274,000円
今年度基金現金残	39,146,369円	55,557,831円	3,967,122円	8,237,513円	106,908,835円
運用額(貸付残)	35,162,000円	22,271,000円	8,960,000円	5,695,000円	72,088,000円
年度末基金残高	74,308,369円	77,828,831円	12,927,122円	13,932,513円	178,996,835円
運用率	47.30%	28.60%	69.30%	40.80%	40.30%

▲表2 奨学金の運用状況(令和5年度)

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

された功績と遺徳を顕彰するため、有田ロータリークラブが、昭和42年に会員の拠出金により設立された。「有田ふるさと奨学金」旧町時代にあつた制度を平成18年の2町合併後に統合された。

町政を徹底追求!

一般質問

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。



かもはら たみお 蒲原 多三男議員

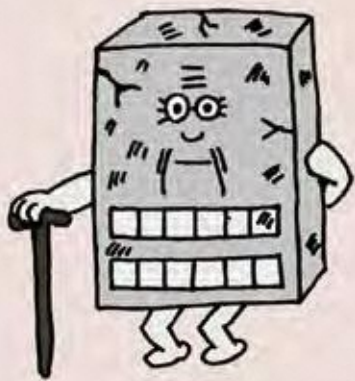
学校施設・体育館の老朽化、整備は

答 子どもたちの、安心・安全の環境整備への取り組みをしていく

学校施設の老朽化の現状は

議員 平成30年の文科省調査によると、老朽化により学校施設改修を要する小中学校が、全国で75・8%と急増している。安全面の不具合として、外壁の落下、天井板の崩落等は、平成23年から28年の5年間で3万1千件以上と倍増している。町内の小中学校施設の築年数はどうか。

学校教育課長 有小の校舎・体育館は築6年、中部小の校舎が築19年、体育館が築17年、曲川小は校舎南棟が築58年、



▲老朽化した建物

な安全点検が必要。学校ごとに担当の先生が教頭に報告し、教頭も点検をする。異

施設の調査、点検は

北側が築43年、体育館が築42年、大山小は校舎が築50年、体育館が築41年。有中は校舎が築45年、体育館が築44年、西中は校舎が築64年、体育館が築18年である。

議員 校舎の耐震化やブロック塀の安全対策・防止策は。また築40年以上の建物は外壁落下の危険性がある。国の「国土強靱化実施中期計画」と町の施策との関連は。

学校教育課長 定期的

常があつたときは学校と学校教育課と相談・対応している。

「町国土強靱化地域計画」は令和6年に改訂され、学校の施設設備について追加記載された。将来を見据えながら改修、建て替えを行い、学習活動に集中できる教育環境の整備に努める。

議員 現在決まっている改修等の計画は。

学校教育課長 教育委員会では、令和3年3月に学校施設長寿命化計画を策定した。中部小の大規模改修を来年度以降に予定。

体育館の空調設備とバックアップ電源は

議員 小・中学校体育館の空調設備（エアコン）の設置状況と、災害時に避難所になった場合の停電対策やガス供給についての整備に

対する考えは。

学校教育課長 町内6校の体育館に空調設備はない。体育館の建て替えの際に検討していく。バックアップ電源の整備もなく、自然災害等への備えとして、防災担当と協議していく。

議員 早急には言わない。新たな、大事な項目として期待する。

町長 年々激甚化する災害に対応すべき。文教施設、体育館の空調、電源の確保も課題である。

災害時のトイレ対策を

議員 緊急時にトイレが使用できなくなったり、集団感染や、不衛生でストレスも積もり、命にも及ぶような秩序の乱れが発生する。この認識は。

総務課長 飲料・食料・医療の確保と共に、トイレ対策は命にかかわる重要な問題と認識している。町は、携帯トイレ、簡易トイレの準備をし、他機関と連携して、次の備えとして何が必要か考える。

町長 自助・共助・公

助を再認識しそれぞれができることに努める。



▲トイレが使える日常

南部工業団地 開発の可否を決断する時期では

詳しくはこの動画で



動画用のQRコード



もろくま ようすけ
諸隈 洋介 議員

答 来年中には決断したい

南部工業団地の進捗は

議員 改めて現在までの進捗と現状は。

まちづくり課長 佐賀県新産業集積エリア事業として県と有田町が共同で工業団地を造成、企業誘致により雇用創出や地域経済活性化を図るために始まった。

平成20年に県の事業選定を受けたが、現在まで造成は未着手である。

議員 西九州自動車道の開通により立地条件は良くなる。造成事業が費用対効果に見合うのかを含め、開発の可否を決断すべき時期では。

町長 事業が進まない理由が水量確保やスケジューリング、雇用問題等である。他に活用方法がないかを含め、県と再協議を重ね、来年中には開発するか否かの決断をしたい。

議員 残り任期中に決

断をし、責任を負うのが町長の仕事である。

各種団体との包括協定は

議員 近隣自治体や大学、民間との連携や協定の実績と評価は。

総務課長 町では大学や企業との連携を掲げ、平成30年から29件締結。休止もあるが、現在実施進行中である。

町長 官民連携を積極的にやっていく。

議員 執行部との綿密な調整が肝要である。



▲南部工業団地の完成予想図

町に宿泊施設の設置を

詳しくはこの動画で



動画用のQRコード



ひわたし とおる
樋渡 徹 議員

答 宿泊・食事が可能な施設計画を進めたい

町の観光計画

▽宿泊施設の設置

議員 町外からの観光客誘致の目的は、町内での買い物、食事など、町の経済効果を上げることにあります。

有田温泉も町外の方方に好評であり、包括連携協定を締結したアイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社と協議し、ホテル建設は考えられないか。

商工観光課長 協定の締結はなされたので、宿泊施設などの協議は可能と思われる。

町長 詳細には至っていないが、レストランを含め、計画を進めたい。

▽道の駅計画

議員 通称セラミックロードが国道35号線に接続され、伊万里方面への延長も進む状況である。

コストコのような店

舗併設での道の駅計画はできないか。

まちづくり課長 大型商業施設などとの併設は、近隣人口や見込める車等のアクセス量などの条件がネックとなり、難しい状況である。



▲モザイクタイルミュージアムの壁画

山林の伐採対応

議員 近年は後継者が見込めない山林も増えているが、公的機関への譲渡は可能か。

農林課長 町では寄付は受け付けていない。国への譲渡は、相続土地管理費相当額を納めることと諸条件を満たせば譲渡可能となる。

◆産業建設常任委員会行政視察

岐阜県土岐市・多治見市

土岐市「セラテクノ土岐」の取り組み

- ・伝習生の制度で、陶磁器のデザイン及び生産工程全般に関する基礎技術を習得させ、中堅技術者となるよう指導・養成している。
- ・令和4年から脱炭素美濃焼SDGsプロジェクトで活動を開始し、消費燃料の削減を図っている。

場所：セラテクノ土岐



場所：多治見市モザイクタイルミュージアム



多治見市モザイクタイルミュージアムの取り組み

- ・美濃焼タイルは日本一の生産量を誇り、やきもの文化を観光資源として活用している。観光産業を推進し、地場産業の活性化、人的交流で活力あるまちづくりを目的とする。
- ・「タイル」を持続・発展させるため、来訪者へ直接アプローチし、魅力発信や消費者ニーズを地場産業の振興に繋げる。

国際陶磁器フェスティバル美濃の取り組み

「土と炎の国際交流」をメインテーマに、陶磁器のデザインと文化の国際的な交流を通じて、さらなる陶磁器産業の発展と文化の高揚を目指す。世界中の国と地域の作品が一堂に会し、今年で13回目（3年毎に開催）38年の歴史ある展覧会。国内1112点、国外2778点の作品が出品されている。

場所：国際陶磁器フェスティバル美濃



= まとめ =

土岐市、多治見市の窯業関連は有田町と同じ問題を抱えている。後継者育成のための伝習生制度の取り組みは、少数精鋭で中堅技術者を育成している。

また脱炭素の取り組みは大変参考になった。

国際陶磁器フェスティバル美濃の取り組みでは、海外からの出品数が国内の2倍であり、38年間の努力の成果だと感心させられた。

産業建設常任委員会

委員長 手塚 英樹 副委員長 諸隈 洋介
委員 岩尾 匡 委員 樋渡 徹
委員 松尾 文則

◆ 文教厚生常任委員会行政視察

愛知県東郷町 ・ 三重県鳥羽市

「いきいきとうごう健康マイレージ事業」

住民の健康づくりを応援するため、取り組みをポイント制にし、100ポイント以上貯まったら、愛知県の健康づくり応援カード「まいか」を進呈。県内協力店に提示することで優待・優遇を得る仕組み。

場所：東郷町庁舎



場所：鳥羽市庁舎



東郷町オリジナルの「とうごう体操」

保育所や小学校、各種イベントの際に活用。愛知県の健康づくりリーダー養成事業で町内の健康づくりを推進する担い手を育成。役場庁舎隣接施設「いこまい館」では、100%町出資の東郷施設サービス(株)に指定管理委託を行い、一般的なトレーニングジムをはじめ水中トレーニング、各種体操教室や音楽教室、カフェ等を提供している。

「とばっ子カード事業」

子育て世帯を対象にカードを発行し、商品の割引やプレゼントなど協賛店独自の特典を受けることができる事業。令和6年度からは電子化(市の公式LINE)され、協賛店55店舗に掲示されているQRコードから特典を受けることができる。子育て世帯への情報提供や、「書かない窓口」の実現等、DX化の推進には一定の効果があると感じた。

場所：鳥羽市議会議場



= まとめ =

人口の多い少ないにかかわらず、少子高齢化により様々な課題がある。現状と将来を見据え、地域に応じてどのような施策が必要かを都度、判断していくべきと感じた。

今後さらに情報収集と研鑽を重ね、有田町の健康づくり・子育て支援事業についても、社会状況に応じDX等を取り入れながら、町民に求められる福祉の増進に尽力しなければならぬ。

文教厚生常任委員会

委員長 藤 誠一郎
委員 浦川 和彦
委員 梶原 貞則

副委員長 松永 俊和
委員 福島日人士

◆総務常任委員会行政視察

富山県上市町・福井県永平寺町

晴天時には剣岳（標高2,999 m）が一望できる上市町。空き家対策の一環として町が運営する「0（ゼロ）円空家バンク」制度。全国紙やNHK、民放や海外放送でも紹介されているこの制度の取り組みを調査・研修するため、行政視察を実施した。

場所：上市町議会会議室



場所：上市町役場玄関前



0円空家バンク制度とは、空き家を解消し、移住・定住につなげる取り組みである。

①「空き家を町に寄附したい」「空き家と農地を誰かに譲りたい」人は0円空家バンクに登録する。また「空き家等を取得したい」人も登録する。

②内覧会で確認、当事者間で直接交渉し契約が成立すると、空家等登録者に最大10万円、住宅取得者に定額50万円の補助がある。

◎宅地建物取引業者は無償の空き家は取り扱わない

曹洞宗大本山永平寺（創建1244年）がある永平寺町。国の事業として全額国費で実施している、地域公共交通「自動運転ZEN drive」の視察・研修を行った。

2023年に国内で初の運転者を必要としない、自動運行装置による移動サービスを開始した。道路に埋設した電磁誘導線に沿って走行している。

場所：永平寺町 ZEN drive 試乗



= まとめ =

上市町の小竹副町長が「人口減少対策や町の発展に繋がる施策を考えてくれ」と各課長に提案し、町職員の発案で令和4年度から始まった「0円空家バンク」制度。現在23件が登録され、22件が契約に至り、22世帯64人の移住・定住に結びついた。副町長は「消滅可能性都市じゃないが、何か新しいことにチャレンジしないと埋没する。できるチャレンジはしたほうがよい」との姿勢。

総務常任委員会

委員長	中島 達郎	副委員長	蒲原多三男
委員	久保田 豊	委員	原田 一宏
委員	池田 榮次	委員	今泉藤一郎



千葉県富津市より行政視察（11月5日）



千葉県富津市議会より10名様が視察に来られた。視察内容は、有田町が試行的事業として取り組んでいる『こども誰でも通園制度』について。町子育て支援課の担当者より、事業の詳細説明や利用者の反応等の説明を受けられ、その後、事業を実施されているあかさかルンビニー園を視察された。終始、活発な質問等をされ、有意義な視察となられたようだ。



ワールドカフェ方式 町民討論会（10月14日）



『あなたのアイデアが、有田町の未来をつくる』をテーマにまちの魅力を再認識し、これからのまちづくりに向けた新たな一歩を踏み出すため陶都有田青年会議所主催の『町民討論会』が開催された。多くの町民が参加され、幅広い年齢層から多種多様な意見を聞くことができた。

ワークショップで課題を洗い出し、町の未来に向けて実のある町民討論会となった。

第1回議員定数等調査特別委員会（11月6日）



9月議会で発議され、議会の役割と定数のあり方、適正な議員報酬について議論をするための議員定数等調査特別委員会が設置された。

まず、議員定数については、議員のなり手不足など抱える問題を様々な観点から協議を重ね、3月頃を目途に結論を出す予定である。



議員定数等調査特別委員会の協議結果

各委員の意見が出尽くしたところで、以下の件を確認した。

①議員定数は、増やさないということによいか。《全委員同意》

②議員定数を3人もしくは4人減らすことはしないことによいか。《全委員同意》

③議員定数は、変更なし、1人減、2人減の中から決めることにしてよいか。《全委員同意》

※今後も特別委員会を開催することを決定して閉会した。

有老連有田支部との意見交換会(10月2日 生涯学習センター)



有老連有田支部との意見交換会では様々な意見に対して質疑応答を行った。

(問) 議員定数を削減した方がよいという意見もあるが、議会としての対応は。

(答) 特別委員会を設置した。今後は協議を重ね早ければ年明けの3月頃に結論を出す予定。

他にも「各議員の公約の実現状況は」「空き家対策について」「コミュニティバスの利便性は」「人口減少への対策は」「新庁舎の位置について」「産業廃棄物と汚水について」など多数の意見、要望がでた。議会としては町民の意見を汲み取りながら、できる限り町政に反映させていきたい。

◆ 発議第6号 小中学校の学校給食の無償化を求める意見書について

義務教育の中における学校給食費の家庭負担で自治体間の格差が生じていることは問題である。未来を担う子どもたちの学校給食を国の財政負担により早期に無償で提供されるよう、国に意見書を提出した。

■ 議長交際費支出状況 (令和6年10月~12月)

項目	件数	支出額(円)	備考
会費	2	18,000	東京有田会総会・懇親会会費ほか1件
雑費	1	10,000	東京有田会総会・懇親会記念品代
合計	3	28,000	

有田町議会
HPはこちら



あとがき

12月議会が終わり、本年もあと僅か。歳を取ると月日の移り変りを早く感じると言われるのを実感する。

正月早々、能登半島周辺は大きな地震に見舞われ甚大な被害を受けた。更に9月には、線状降水帯発生による大雨でダブルパンチを受けた。被災地には一日も早い復興を祈りたい。

幸いにも、近年有田町では大きな災害は発生していないが、今年の異常な暑さが記録的に長期化したことなど、急速な地球の環境悪化による気象変動が懸念される。最近、話題に上がらなくなったオゾン層破壊も気になること。

議会広報発行特別委員

委員長 諸隈 洋介
副委員長 樋渡 徹
委員 浦川 和彦
委員 岩尾 匡
委員 久保田 豊
委員 中島 達郎